

TECA

(テカ)

肌のタンパク変性からくる黄グスミを抑制

【特長】 手摘みツボクサより、高純度の高活性パウダー
採取地マダガスカルへの貢献により国連フェアトレード組織より
可老化による黄グスミの要因である糖化をブロック

【コンセプト】

TECA(Titrated Extact of Centella Asiatica)とは、日本では**ツボクサ**と呼ばれるセリ科植物の葉から得られた精製エキスです。

ツボクサは、西洋ではセンテラアジアチカ(一般名: Centella Asiatica / マダガスカル: Talepetraka)として知られ、マダガスカルも位置する亜熱帯地域に広く生息する野生の多年草です。野生のトラが傷ついた時にツボクサに体をこすり付けて治したという伝説もあり、別名**タイガーズハーブ**とも呼ばれております。また、動物にとどまらず、ツボクサには優れた創傷治癒効果があり、古来より民間療法の薬として珍重されてきました。血管不全(むくみ等)、消毒、解毒、皮膚病など、多くの症状に応用されています。

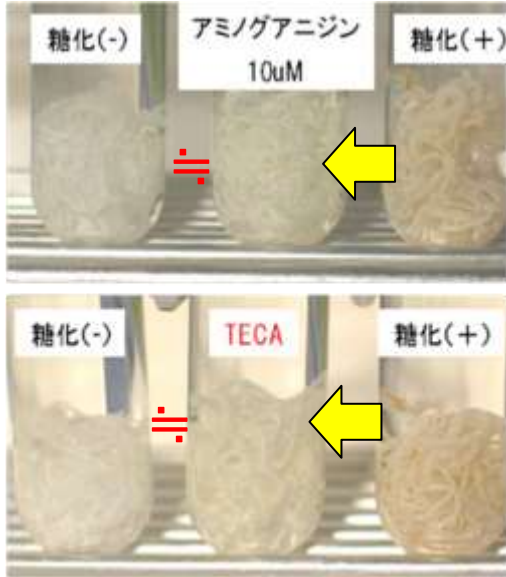


TECA は、手付かずの自然に包まれたマダガスカルに自生するツボクサの葉を「**手摘み**」で集め、現地で厳しい品質検査を受け南フランスのGMP 工場にて高純度精製したパウダー状のエキスであり、現地では医薬品用と同等の品質となっています。

主に4つの機能性成分がバイエルにより同定されており、**TECA** には、4成分の内、**アジア酸**(表示名称: アシアチン酸)、**マデカツソ酸**(表示名称: マデカシン酸)の「**酸成分(ゲニン)**」と、**アジアチコシド**(表示名称: アシアチコシド)に代表される「**配糖体成分(ヘテロサイド)**」の計3種の有効成分のみ(約100%)からなるエキスです。これらの特徴成分のうち、**アジア酸**には抗糖化活性があることが認められ、黄グスミの要因であるタンパクの劣化を防ぐ効果を発揮します。

【効果・効能】

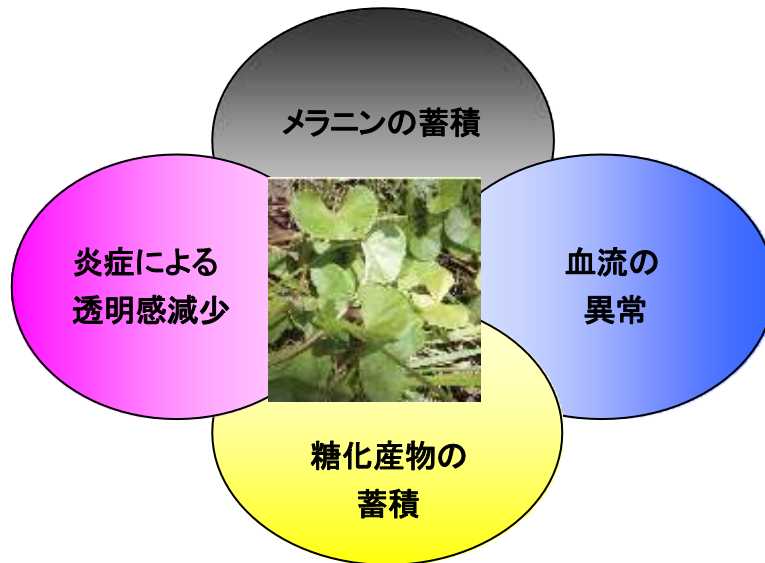
- 糖化の抑制による黄グスミの改善
コラーゲン線維を用いて、TECA もしくはアミノグアニジンを加えた際、グルコゾンによる糖化誘導時の色の変化を観察しました。



肌のコゲとも表現される**糖化**により、コラーゲンやエラスチン、ケラチンなどは褐色を帯びます。これが老化と共に蓄積することで、肌色の透明感が失われ、**黄グスミの要因**となります。

TECA に含まれるアジ酸は、抗糖化作用で知られるアミノグアニジン同様、糖化によるタンパクの黄色化を防ぎます

- 肌色へ影響を与える様々な要因へのアプローチ



糖化以外の肌色の変化の要因にも効果を発揮します

【商品情報】

商品名: TECA (テカ)

表示名称: ツボクサエキス(もしくは、アシアチン酸、マデカシン酸、アシアチコシド)

医薬部外品表示名称: お問い合わせください

推奨配合量: 0.1%~0.5%

製造元: Seppic SAS

2011/4/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。